

令和4年度第1回子ども・子育て会議 議事要旨

日 時：令和4年8月30日（火） 14時00分～15時40分

場 所：村岡区中央公民館 2階 大会議室

出席者：委員15名（2名欠席） 事務局5名

《次第》

開会

あいさつ

委嘱状交付

議題

(1) 令和3年度事業計画の実施状況について

(2) 第2期香美町子ども・子育て支援事業計画の中間年に係る見直しについて

閉会

《資料》

資料14・・・・令和3年度事業計画の実施状況

資料15・・・・令和3年度地域子ども・子育て支援事業について

資料16・・・・第2期香美町子ども・子育て支援事業計画の見直し案

《議題》

(1) 令和3年度事業計画の実施状況について（事務局による説明）

■委員意見

- ・ 一時預かり事業の利用料が高いと感じるが、低く設定してはどうか。

□事務局

- ・ 一時預かり事業の利用料の額については、他市町の状況、町独自の施策の方向性、保育事業以外の他の施策との整合性など、総合的な判断が必要となる。

(2) 第2期香美町子ども・子育て支援事業計画の中間年に係る見直しについて（事務局による説明）

■委員意見

※ 計画見直し案に関する意見なし

- ・ 妊産婦や父親等を対象にした教室で、子育てについて父親へのアプローチがされているのか。
- ・ 以前は、育児休業を男性が取得するものではないとの考えが一般的であったが近年の実情は。

□事務局

- ・ 妊娠期から両親学級を年数回実施している。また、コロナ禍で2年間実施していないが父親も参加する子育て交流会を行ってきた。さらに、おじいちゃんおばあちゃんを対象にした「孫育て教室」を実施していく。
- ・ 近年は、男性の教員、町職員が育児休業を取得した実績がある。学校へは、ワークライフバランスの実現に向けて男性の育児休業制度を活用するよう周知している。

○その他子育て支援に関する意見

■委員意見

- ・ 学校、幼稚園、保育園では保護者が実費負担して揃えないといけないものが多く、例えば制服などを減らすことは考えられないか。
- ・ タブレットが児童生徒一人一人に行き渡っているが、不登校の児童・生徒には貸出ができないと学校から聞いており、使えるようにならないか。
- ・ 特別な支援を必要とする子どもを学校では他の子どもと同じようになることをゴールとしているようで、支援体制はあるが、町のインクルーシブ教育の捉え方はどうかと思う。

□事務局

- ・ 制服、給食費などは、保護者の方にご負担いただきたい。なお、要保護・準要保護の家庭などの支援が必要な方については、町が支援している。
- ・ タブレットの貸出は各学校の判断になる。児童生徒の学習を保障するという観点から、この度のコロナ禍など学校に行けない時に使えるようになることをゴールとして考えている。今後、タブレットの持ち帰りが頻繁になるであろうが、登下校時や家庭でのソフト面・ハード面の正しい取扱いを整理しておく必要がある。
- ・ 特別な支援を必要とする子どもについては、学校が年間の個別の支援計画を作成し、保護者とやり取りをしながら計画の方針に沿って進めている。